

学年「単元名」	第5学年「グラフ」
本時のねらい	自分の表したいことに応じて適切なグラフを選択・作成し、棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ、帯グラフの特徴やよさについて捉えることができる。

【授業場面】表計算ソフトを使ってグラフを作成し、特徴や傾向を考察する。

教師の働きかけ ・発問等	児童の活動 ・発言 ○活動
--------------	---------------

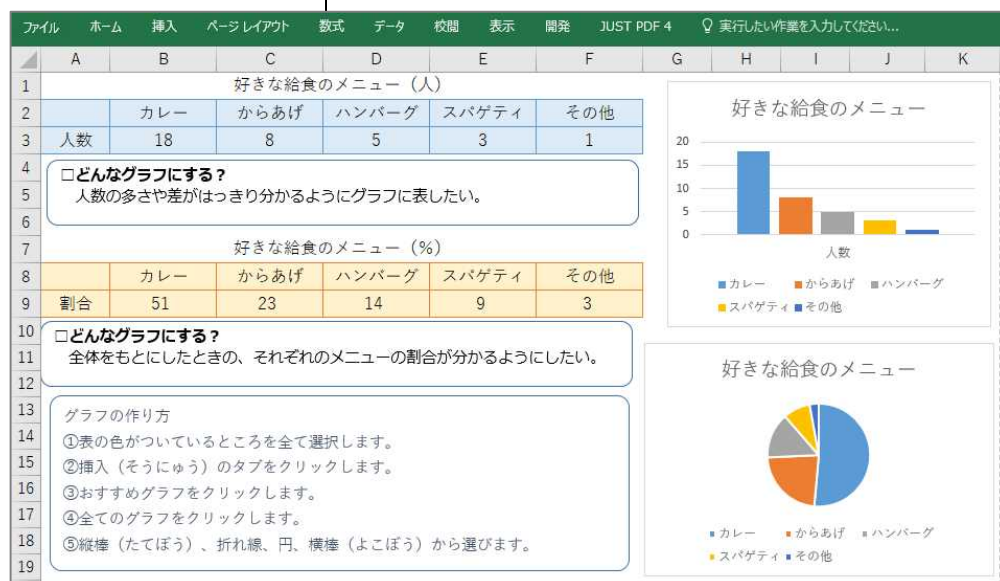
【これまでの学習内容と準備物等】

・円グラフと帯グラフの読み取りやかき方を学習している。

※表計算ソフトデータ（数値等入力済）

- 表計算ソフトを使って、棒グラフや円グラフを作成させる。
 - 「グラフ作成ファイル」を開きましょう。
 - シート1「【練習】データ給食」で、棒グラフや円グラフを作ってみましょう。

- 表計算ソフトを使って、棒グラフや円グラフを作成する。
 - グラフの種類を選んだだけで、いろいろなグラフが簡単にできるね。



- 表から読み取ったことをもとに、グラフ作成に向けてのめあてをもつ。

ある町の農業で働く人の数（人）

	1995年	2005年	2015年
15～39さい	50	32	14
40～59さい	116	72	34
60さい以上	248	232	161

- ある町の農業で働く人の数について、1995年、2005年、2015年で、年齢別に整理した表です。
- 表からどんなことがわかりますか。
- どんなことを伝えたいですか。

表から分かること

- 農業で働いている人は、減っています。
- 15～39さいが少ないです。
- 60さい以上が多いです。

表から伝えたいこと

- 働く人が何人減ったのかを伝えたいです。
- どんな減り方をしているか変化を伝えたいです。
- それぞれの年の人数の割合を伝えたいです。
- 全体を1として割合の変化を伝えたい。

- ・グラフの種類にはどんなグラフがありましたか。
- ・それぞれどんな特徴がありましたか。
- ・棒グラフ（差がわかりやすい）
- ・折れ線グラフ（変化がわかりやすい）
- ・円グラフ（割合がわかりやすい）
- ・帯グラフ（割合が並んでいてわかりやすい）

どんなグラフにすると、伝えたいことに合ったものになるでしょう。

3 目的に合わせてグラフを作成する。

□どんなグラフにする？

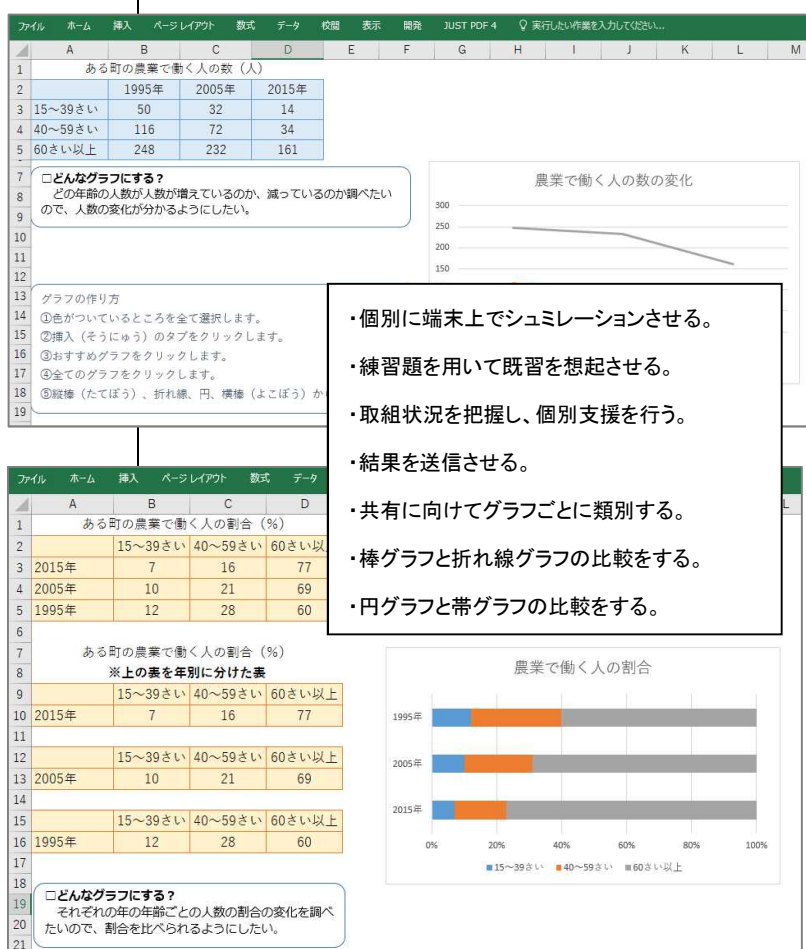
人数の変化が分かるようにしたいので、折れ線グラフにする。

□どんな表が必要？

割合を伝えるためには、全体を1として割合の表もつくってみよう。

□どんなグラフにする？

年齢ごとの割合の変化を伝えたいので、帯グラフにする。
何%か、割合も伝えたいので、割合の表もつくってみよう。



- ・個別に端末上でシミュレーションさせる。
- ・練習問題を用いて既習を想起させる。
- ・取組状況を把握し、個別支援を行う。
- ・結果を送信させる。
- ・共有に向けてグラフごとに類別する。
- ・棒グラフと折れ線グラフの比較をする。
- ・円グラフと帯グラフの比較をする。

- 4 作成したグラフを共有し、それぞれのグラフのよさや特徴について話し合う。
- ・どんなグラフを作成したでしょう。
 - ・それぞれのグラフにはどんなよさがあるでしょう。

○作成したグラフについて説明し合う。

- ・折れ線グラフにしたので、変化を捉えやすい。
- ・私は、棒グラフで作成したけど、変化を調べるには、折れ線グラフの方が分かりやすいです。
- ・帯グラフはその年の割合や変化も並べて比べることができるので、わかりやすい。

MEMO

B 個別学習 B3 思考を深める学習
シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習

C 協働学習 C1 発表や話し合い
グループや学級全体での発表・話し合い

ICT 活用

【送信機能】

- ・評価
- ・個に合わせた情報提供

【共有機能】

- ・グラフの特徴の全体理解
- ・自分にはない考えへの気づき